

つくば市記者会 御中

発信日：平成31年（2019年）3月11日（月）

発信元：つくば市市民部文化芸術課

取材依頼 周知依頼 募集告知 その他

つくば発のメディアアート作品が 文化庁メディア芸術祭推薦作品に！



応募総数4,384点のうち、受賞作品を6月から都内で展示

平成30年（2018年）7月に開催された「つくばメディアアートフェスティバル2018」にて発表された、パフォーマンスグループGRINDER-MAN（グラインダーマン）のメディアアート作品「HERO HEROINE」、鈴木健太氏「Schnellaumseher」の2作品が、第22回文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品（アート部門）に選ばれました。受賞作品は2019年6月から都内にて展示されます。

1. 文化庁メディア芸術祭

アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバル。第22回は世界102の国と地域から4,384点の作品応募があった。このうちアート部門の受賞は38作品。

【開催期間】2019年6月1日（土）～6月16日（日）
【会場】日本未来科学館、他
【入場】無料

2. 受賞作品

・HERO HEROINE

スタジオセットで撮影した変身ポーズをリアルタイムに映像に合成して、体験者を“ヒーロー・ヒロイン”に変身させる体験型メディアアート。パフォーマンスグループGRINDER-MANが、「つくばメディアアートフェスティバル」のために筑波大学と共同開発した完全新作。

【作品紹介URL】<https://youtu.be/rK1t0gV-nsg>



・Schnellaumseher

空間・時間的に操作可能な空間アニメーションを再生するメディア装置。筑波大学情報メディア創成学類4年の鈴木健太氏の作品で、映像という文化の中で誕生したアニメーション表現の可能性を拡張している。



※つくばメディアアートフェスティバル2018

“メディアアートの聖地”として、科学のまちつくばから新たな文化を発信することを目的として、筑波大学工学・芸術連携リサーチユニットと協働で開催。インタラクティブアート作品を中心に、茨城県つくば美術館のほか、つくば駅にも作品が出現した。

【開催期間】平成30年（2018年）7月28日（土）～8月5日（日）

【会場】茨城県つくば美術館、つくば駅

【来館者数】3,727人